NHKエンタープライズ
福島でPMイベント制作
4月15-16日に開催

NHKエンタープライズは、イベント「福島プロジェクションマッピング2016 はるか ～白河 花かがり～」（4月15－16日、福島県白河市）を制作企画する。主催はfukushimaさくらプロジェクト。同イベントは、東日本大震災で被災した福島を応援するために2013年から開催。3年間続けた「鶴ヶ城プロジェクションマッピング はるか」は計8万人を集客し、地元文化を活用したイベントとして成功した。5年を迎えたのを機に、福島全域に視野を広げた復興応援イベントとする。

タイトルの「花かがり」には夜桜を浮かび上がらせるかがり火、プロジェクションマッピングの光で輝かせる桜、復興のかがり火の意味を重ねた。

全体は3部構成で計20分。プロジェクションマッピングでは、桜が花を咲かせるまでの様子に、福島の人々の生き様を表現。書家の紫舟の作品を映像に織りまぜる。

福島プロジェクションマッピング 2016 はるか ～白河 花かがり～

シリコンスタジオ
EIZOとHLG開発で協業
ハードとソフト制作を連携

シリコンスタジオは、EIZOと協業して、ハイブリッドLog方ンマ（HLG）対応のHDRソリューションを開発する。シリコンスタジオは今後、ドルビービジョンも含めたHDR出力に積極的に対応する。

シリコンスタジオはHDRコンテンツ開発技術を、EIZOがHLG対応HDRモニターの開発をそれぞれ担当する。両社の技術と製品を組み合わせることで、「ソフト・ハードの両面からコンテンツ制作をサポートする新しいHDRソリューションを提案できる」という。放送や自動車などの製造業、ゲーム業界などを対象とする。

6月22日－24日に開催される「第24回3D&バーチャルリアリティ展」および、6月29日－7月1日「第2回先端コンテンツ技術展」で、シリコンスタジオが制作したHLG対応のリアルタイムCGコンテンツを、EIZO製HDRモニターの試作機で表示するデモを実施する。

◆YEBIS for Maya

シリコンスタジオはまたオートデスク「Maya」のプラグイン「YEBIS for Maya」を発売した。

実写やCGによるリアルタイムビジュアルに向け、ポストプロセスでグレアやレンズフレア、被写界深度などのエフェクトをかけられるミドルウェア「YEBIS3」の機能を、Maya2015/2016のビューポート2・0で使用できる。レンダリング結果はフレーム書き出しできる。

第24回3D&バーチャルリアリティ展では、物理ベースリアルタイムレンダリングエンジンを利用したVR技術を実演。高速レンダリングが必要なVRコンテンツ制作を、リアルタイムCG技術でサポートする。

住宅や建築、自動車製造、ゲーム、映像などに展開する。

池上通信機が納入
朝日放送のFPU基地局設備
機能と価格のバランス

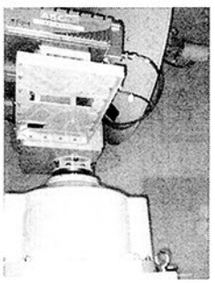
池上通信機は、日本エレクトロニックシステムズから、朝日放送（ABC）向け和歌山FPU受信基地局設備を受注。2015年10月に現地納入し、現在本運用されている。FPU受信基地局とリモコンの放送局納入の実績、機能と価格のバランスの良さをABCから評価されたことが受注につながったという。

番組素材は、紀伊半島南部（大雲取、半島中央部（護摩壇、奈良県西部（生駒）のFPU基地局を経由し、本社に伝送される。大雲取の受信回転架台は、ヘリからのマイクロ波の受信を想定し、電界およびGPSにより自動追尾に対応する。受信機は現用・予備の2台構成で、冗長性を確保している。護摩壇では、大雲取受けのほかにGPSによる追尾に対応した直径0・6㍍の回転架台を備え切り替えて運用をバックアップする。受信回転架台を、迅速に確実に送信点に向けるための機能や運用支援、アラーム機能を備えている。

またリモコンにはアラーム発生時、事前に登録した電話番号に自動でコールする機能を搭載。運用者であるABCからの要望を受け、運用性を高めた。

導入後は、和歌山新宮支局カメラマンからの取材映像や、季節を彩る和歌山県山間部のヘリ空撮などのニュース素材伝送で運用されている。ABCからは、「FPU基地局の集中制御のソフトウエアに関して、現地工事開始後に出てきた要望にも改修対応してもらい満足している」と評価を受けたという。

大雲取中継基地（NTT西日本那智無線中継所）


大雲取　レドーム実装のPF-531高周波部

八洲学園大学
動画配信スタジオを開設
イベントや通信授業で活用

通信制の八洲学園大学は、動画をライブ配信できるスタジオ「DoGa Shinjuku」を東京・新宿に開設した。eラーニングのほか、企業やイベントなどへの貸し出しで利用していく。

撮影設備には、4Kまで対応するカメラやスイッチャー、24chミキサー、コンピューター制御のLED照明などをそろえる。クロマキーによる背景動画との合成やバーチャルスタジオ機能も備える。

同大学は、年間約100の公開講座をインターネットで配信している。特別講座などで利用するほか、将来的には関連学科の設立も計画している。

【主な機材】

カメラ＝PXW-FS5K3台▽スイッチャー＝トライキャスターミニ▽モニター＝BT-LH2170ほか▽ミキサー＝01V96i▽編集システム＝アドビCC、ファイナルカットプロ、プロツールス（MacPro、MacMini）

DIGITAL CONTENTS COMPLETION
株式会社アックスウィン
株式会社アドックスから、
株式会社アックスウィンへ社名変更致しました。
東北での4K映像はアックスウィンへ
代表取締役　遠藤　誠
T：022 261 9481 / 022 216 5455 F：022 261 9482
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-8-10-5F
www.axw.co.jp　cue-tv.net